

公益社団法人 日本薬学会



第134年会

講演ハイライト

KUMAMOTO 2014

● 会期 ●

3月27日(木)～3月30日(日)

● 会場 ●

ホテル日航熊本
熊本大学黒髪キャンパス
熊本市総合体育館 など

報道機関用



医療系薬学 医療薬学 薬物治療(がん)

オゾンガスで医療従事者を守る

〔近畿大薬〕石渡俊二

抗がん剤はがん患者さんには有益ですが、その強い作用のために職業として多くの量を日々取り扱う医療従事者のがんや流産などがおこることが危惧されており、医療施設内の器具や設備の抗がん剤汚染を防止する方法が求められています。私たちは、気体であるオゾンガスによって簡便に抗がん剤が分解できることを見出し、抗がん剤汚染を防止するための方法としての応用性を示しました。

29N-am15 オゾンガスによる抗がん剤の分解

医療系薬学 医療薬学 リスクマネジメント

NO MORE HBV再活性化！

〔名市大薬〕真川明将

抗がん剤等の治療で免疫が低下すると、過去に感染したB型肝炎ウイルス(HBV)が増殖することがあります。これをHBV再活性化といい、再活性化から劇症肝炎が起こると致死率が高く危険です。HBV再活性化のリスクは血液検査でわかります。当院では検査漏れがないように、抗がん剤をオーダーするとHBVの検査実施を問うシステムを運用し、より安全ながん治療を目指しています。

29N-am09 がん化学療法における
HBV再活性化アラートシステムの有用性の検討

医療系薬学 医療薬科学 がん

新たな膵臓癌治療標的「ルミカン」

〔近畿大薬〕山本哲志

膵臓癌は、最も予後の悪い癌の一つですが、その要因の一つとして効果的な治療薬が存在しないことが知られています。これまでの研究により、膵臓癌で発現しているルミカンと呼ばれるタンパク質が、癌細胞の増殖に関わっていることを見い出しています。今回は、ルミカンを標的にした新しい治療法の開発について検討を加えました。興味深い結果が出ましたので報告します。

30pML-136 プロテオーム解析を用いた
lumicanの膵臓癌細胞増殖制御機構の解析

系別一般学術発表演題数およびハイライト掲載数一覧

| 系 | 分類 | 演題数 | 掲載数 |
|----|------------|-------|-----|
| A | 有機化学 | 578 | 7 |
| | 生薬学・天然物化学 | 340 | 7 |
| | 医薬化学 | 183 | 4 |
| B | 物理化学・生物物理 | 142 | 4 |
| | 分析化学 | 141 | 3 |
| | 放射化学 | 38 | 3 |
| C | 生物化学 | 405 | 5 |
| | 薬理学 | 314 | 4 |
| | 微生物学 | 90 | 1 |
| D | 衛生化学・公衆衛生学 | 180 | 4 |
| | 環境科学 | 71 | 2 |
| | 社会と薬学 | 44 | 0 |
| E | 薬剤学 | 136 | 2 |
| | 製剤学 | 193 | 6 |
| | 医療薬学 | 506 | 19 |
| | 医療薬科学 | 78 | 1 |
| F | 薬学教育 | 141 | 5 |
| | 薬学史 | 4 | 1 |
| | その他 | 18 | 1 |
| 合計 | | 3,602 | 79 |

シンポジウム 講演番号の読み方

【シンポジウムの表記】

OS：特別シンポジウム

S：一般シンポジウム

GS：大学院生シンポジウム

一般学術発表 発表番号の読み方

【一般演題（口頭発表）の表記】

28P-am01S・・・28日の午前に〔黒髪キャンパスエリア〕南地区熊本大学工学部2号館222号室(P会場)で行われるセッションの第一番目の口頭発表演題

【一般演題（ポスター発表）の表記】

29amL-041・・・29日の午前に〔水前寺エリア〕熊本市総合体育館内の大体育室(PL会場)に掲示されるパネル番号041の演題(奇数番号と偶数番号で示説時間が異なります)ポスター発表では、発表番号のL、M、Sは、それぞれPL、PM、PS会場となります。

※どちらも優秀発表賞審査希望者には演題番号末尾に「S」が付きます。